

## 臨床検査マスター

## 【臨床検査マスター新着情報】

2013年1月29日 **NEW!!**

臨床検査マスター(Ver 2.18)が、ダウンロード可能となりました。

→[ダウンロード](#)臨床検査マスター(Ver 2.18)の概要 **NEW!!**

1. 以下の臨床検査項目分類コードが新設されました。(日本臨床検査医学会JLAC10コード表 Ver.10.a.27 (2013.1.21) より)

項目名	新設区分	新設コード	新設名称	17桁コード例
核酸同定(結核菌pncA遺伝子)	分析物	6B623	核酸同定(結核菌pncA遺伝子)	6B623 0000 080 843 11
悪性黒色腫関連遺伝子	分析物	8C790	悪性黒色腫関連遺伝子	8C790 9961 220 866 00
				8C790 9961 220 866 51
				8C790 9961 220 866 52
				8C790 9961 220 866 53
スチリペントール	分析物	3L235	スチリペントール	3L235 0000 022 210 01
ELISPOT法	測定法	031	ELISPOT法	5E301 0000 019 031 11
				5E301 0000 019 031 00
				5E301 0000 019 031 51
				5E301 0000 019 031 54
				5E301 0000 019 031 55
				5E301 0000 019 031 56
				5E301 0000 019 031 57
結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン-γ (分析物コード: 5E301) の多結果項目	結果識別(固有)	56	EAST-6	5E301 0000 019 031 00
	結果識別(固有)	57	CEP10	5E301 0000 019 031 51
				5E301 0000 019 031 54
				5E301 0000 019 031 55
				5E301 0000 019 031 56
5E301 0000 019 031 57				
悪性黒色腫センチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査	結果識別(固有)	51	Tyrosinase	8C790 9961 220 866 00
	結果識別(固有)	52	gp100	8C790 9961 220 866 51
	結果識別(固有)	53	MART-1	8C790 9961 220 866 52
				8C790 9961 220 866 53

新着情報バックナンバー

## ●ダウンロード

臨床検査マスター(Ver2.18)は以下から↓ダウンロードできます。

1. まとめ表 (zip 3.64MB) <更新>

- (1) 臨床検査マスター15桁コード表
- (2) 臨床検査マスター17桁コード表
- (3) JLAC10要素コード表
- (4) 診療行為マスター (診療報酬情報提供サービス)
2. [図4、図5：ユーザ使用ツール](#) (ppt 182KB)
3. [図6：ユーザ利用ツール使用例](#) (Excel 447KB)

#### ●臨床検査マスターの概要

臨床検査マスターは、医療機関の病院情報システム (HIS) や電子カルテシステム、オーダーリングシステム、検査部門システムと様々な部門で利用されることを想定したマスターであると同時に、他のシステムとの連携または、他の医療機関との連携にも的確な情報交換が出来るよう標準化された検査項目と、社会保険診療報酬支払基金の提供するレセプト電算処理システムに対応するレセプト作成用のコード (診療行為コード) をマッチングさせた臨床検査マスターです。このマスターを利用することにより部門間、病院間の情報のやり取りを、専用の対応テーブルなど用意せずシームレスに行うことができ、医療機関で行われる臨床検査をオーダーから会計まで一元管理することができます。

#### ●[臨床検査マスターの体系](#) (pdf 337KB)

#### ●[臨床検査マスターユーザ利用ツール](#) (pdf 153KB)

- ・[図4、図5：ユーザ使用ツール](#) (ppt 182KB)
- ・[図6：ユーザ利用ツール使用例](#) (Excel 447KB)

◇ [臨床検査項目分類コード \(JLAC10\)](#) → [日本臨床検査医学会のホームページ](#)

◇ [診療報酬情報提供サービス \(診療行為マスター\)](#) → [厚生労働省保険局のホームページ](#)

#### 【問い合わせ窓口】

本マスターに関する、ご質問についてはメールにてお願いします。

一般財団法人医療情報システム開発センター  
標準化推進部 臨床検査マスター担当

[kensa@medis.or.jp](mailto:kensa@medis.or.jp)

# 臨床検査マスター

## ●臨床検査マスターの体系

本マスターの検査名称部分には、日本臨床検査医学会で制定された臨床検査項目分類コード（通称、JLAC10 コード）を採用しています。JLAC10 コードは基本的に検査対象物質を所定の細則に基づいて採番した「分析物コード」により整理分類され、所定の付加コードとの組み合わせにおいて識別しています。所定の付加コードとは、分析物を検査内容に沿って細分する必要がある場合に採番する「識別コード」、同一項目における検査材料の区別をする「材料コード」、同一項目における測定法の区別をする「測定法コード」、一つの検査項目において結果が単独あるいは複数を経験する「結果識別コード」の項目コードからなります。

臨床検査マスターは、「結果識別コード」を除いた 15 桁コード表と、「結果識別コード」を含めた 17 桁コード表からなります。

なお、日本臨床検査学会では各要素コードの 1 桁目が“Z”から始まるコードをユーザ領域として開放しています。

また、本マスターの検査点数部分には、社会保険診療報酬支払基金が提供している診療行為マスター（レセプト作成用のコード）を採用しています。レセプト作成用のコードは 112 からなる項目がありますが、本マスターにはその中から「診療行為コード」、「診療行為名称」、「点数」など 6 項目を採用しています。

さらに、本マスターは日本臨床検査医学会にて承認された標準検査名称を取り込んだマスター体系になっており、ボーダレスな電子カルテシステム対応マスターとなっています。

## 臨床検査マスター15桁コード表

変更区分	管理番号	検査コード (初期設定)	検査コード (自動生成)	分析物コード	識別コード	材料コード	測定法コード	分析物名	識別名	材料名	測定法名	測定法名2	測定法(備考)	標準検査名称	標準検査略称	診療行為コード	診療行為名称	点数	章	区分番号	項番	更新年月日	保険外フラグ	備考
------	------	-----------------	-----------------	--------	-------	-------	--------	------	-----	-----	------	-------	---------	--------	--------	---------	--------	----	---	------	----	-------	--------	----



JLAC10 (12項目採用)

変更区分、備考

診療行為マスター (8項目採用)

1A0100000001901, 蛋白定性[尿], ...

変更区分, ...

160000310, 尿一般, 点数, ...

図1. 臨床検査マスター15桁コード表の体系

表1. 臨床検査マスター15桁コード表のフォーマット

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	

1	変更区分	数字	1	固定	前マスターからの変化状況を示す。 1：削除 3：新規 5：変更
2	管理番号	数字	6	固定	原則として日本臨床検査医学会が提供している「運用コード表」の運用コードと同一。上2桁が“99”のレコードは独自追加したもの。
3	検査コード(初期設定)	英・数	1 5	固定	JLAC10 コード (結果識別コードなし)
	検査コード(自動生成)	英・数	1 5	固定	JLAC10 コード (結果識別コードなし)
	分析物コード	英・数	5	固定	(再掲) 項番 4
	識別コード	数字	4	固定	(再掲) 項番 5
	材料コード	数字	3	固定	(再掲) 項番 6
	測定法コード	数字	3	固定	(再掲) 項番 7
4	分析物コード	英・数	5	固定	JLAC10 『分析物コード』
5	識別コード	数字	4	固定	『識別コード』
6	材料コード	数字	3	固定	『材料コード』
7	測定法コード	数字	3	固定	『測定法コード』
8	分析物名	漢字	6 4	可変	『分析物名』
9	識別名	漢字	6 4	可変	『識別名』
10	材料名	漢字	6 4	可変	『材料名』
11	測定法名	漢字	6 4	可変	『測定法名』
12	測定法名 2	漢字	6 4	可変	『測定法名 2』
13	測定法 (備考)	漢字	6 4	可変	『測定法(備考)』
14	標準検査名称	漢字	6 4	可変	標準化された検査名称
15	標準検査略名	漢字	3 2	可変	標準化された検査名称略名 (作業中)
16	診療行為コード	数字	9	固定	診療行為マスターの「3. 診療行為コード」
17	診療行為名称	漢字	6 4	可変	診療行為マスターの「5. 漢字名称」
18	点数	数字	1 0	可変	診療行為マスターの「1 2. 新又は現点数」
19	章	英字	1	固定	診療行為マスターの「8 5. 区分 (アルファベット)」
20	区分番号	数字	3	可変	診療行為マスターの「9 2. 区分番号」
21	項番	数字	2	可変	診療行為マスターの「9 4. 項番」
22	更新年月日	数字	8	固定	マスターの情報更新日付
23	保険外フラグ	数字	1	固定	1：保険外
24	備考	漢字	6 4	可変	当該レコードの使用上の注意事項

\*項番 2～13 は JLAC10 から採用、項番 16～23 は診療行為マスターから採用している項目。その他は MEDIS が管理する項目。

\*本マスターは点数加算等の保険請求独自の項目についての情報は持っていません。保険請求独自の項目については、測定法、材料等により判断して、正しく算定が行えるように工夫する必要があります。

## 臨床検査マスター17桁コード表

変更区分	15/17桁(初期)	JLAC10コード	17桁(生成)	JLAC10コード	分析物	識別	材料	測定法	結果識別(共通)	結果識別(固有)	結果識別(固有)コード検索子	参考結果識別コード	参考単位	保険内	診療行為コード	診療行為名称1	診療行為名称2	点数	章	区分番号	項番	更新年月日
------	------------	-----------	---------	-----------	-----	----	----	-----	----------	----------	----------------	-----------	------	-----	---------	---------	---------	----	---	------	----	-------



JLAC10 (9項目採用)

MEDIS 管理項目

診療行為マスター (8項目採用)

1A010000001901, 蛋白定性[尿], ...

結果識別コード, ...

160000310, 尿一般, 点数, ...

図2. 臨床検査マスター17桁コード表(附表)の体系

表2. 臨床検査マスターのフォーマット

項番	項目名	形式			内容	
		モード	最大バイト	項目形式		
1	変更区分	数字	1	固定	前マスターからの変化状況を示す。 1:削除 3:新規 5:変更	
2	JLAC10 コード 15/17桁	英・数	15	固定	JLAC10 コード 15/17桁(初期設定)	
3	JLAC10 コード 17桁	英・数	17	固定	JLAC10 コード 17桁(自動生成)	
4	分析物	拡張フラグ	英・数	2	固定	コードの由来を示す拡張フラグ
		コード	英・数	5	固定	JLAC10『分析物コード』
5	識別	名称	漢字	64	可変	JLAC10『分析物名称』
		拡張フラグ	英・数	2	固定	コードの由来を示す拡張フラグ
6	材料	コード	数	4	固定	JLAC10『識別コード』
		名称	漢字	64	可変	JLAC10『識別名称』
7	測定法	拡張フラグ	英・数	2	固定	コードの由来を示す拡張フラグ
		コード	数	3	固定	JLAC10『測定法コード』
8	結果識別(共通)	名称	漢字	64	可変	JLAC10『測定法名称』
		拡張フラグ	英・数	2	固定	コードの由来を示す拡張フラグ
9	結果識別(固有)	コード	数	5	固定	再掲: 項番 12『結果識別コード』
		名称	漢字	64	可変	JLAC10『結果識別コード(共通)名称』
10	結果識別(項有)コード検索子	拡張フラグ	英・数	2	固定	コードの由来を示す拡張フラグ
		名称	漢字	64	可変	JLAC10『結果識別コード(固有)名称』
11	標準検査名称	漢字	64	可変	分析物コード+識別コード+結果識別コード: 結果識別子(固有)コード表を索引するための演算子 標準化された検査名称	
12	参考結果識別コード	数字	2	固定	JLAC10『結果識別コード』	
13	参考単位	漢字	15	可変	検査結果値単位	

14	保険内	漢字	1	固定	内：保険内    スペース：保険外
15	診療行為コード	数字	9	固定	診療行為マスターの「3. 診療行為コード」
16	診療行為名称1	漢字	64	可変	JLAC10 コードをキーに、前 MEDIS 臨床検査マスターより取り込んだ診療行為名称
17	診療行為名称2	漢字	64	可変	項番15の診療行為コードをキーに診療行為マスターより取り込んだ「5. 漢字名称」
18	点数	数字	10	可変	同上「12. 新又は現点数」
19	章	英字	1	固定	同上「85. 区分 (アルファベット)」
20	区分番号	数字	3	可変	同上「92. 区分番号」
21	項番	数字	2	可変	同上「94. 項番」
22	更新日	数字	8	固定	マスターの情報更新日付
23	備考	漢字	64	可変	当該レコードの使用上の注意事項

臨床検査マスターに関わる運用管理体制は以下のようになっています。

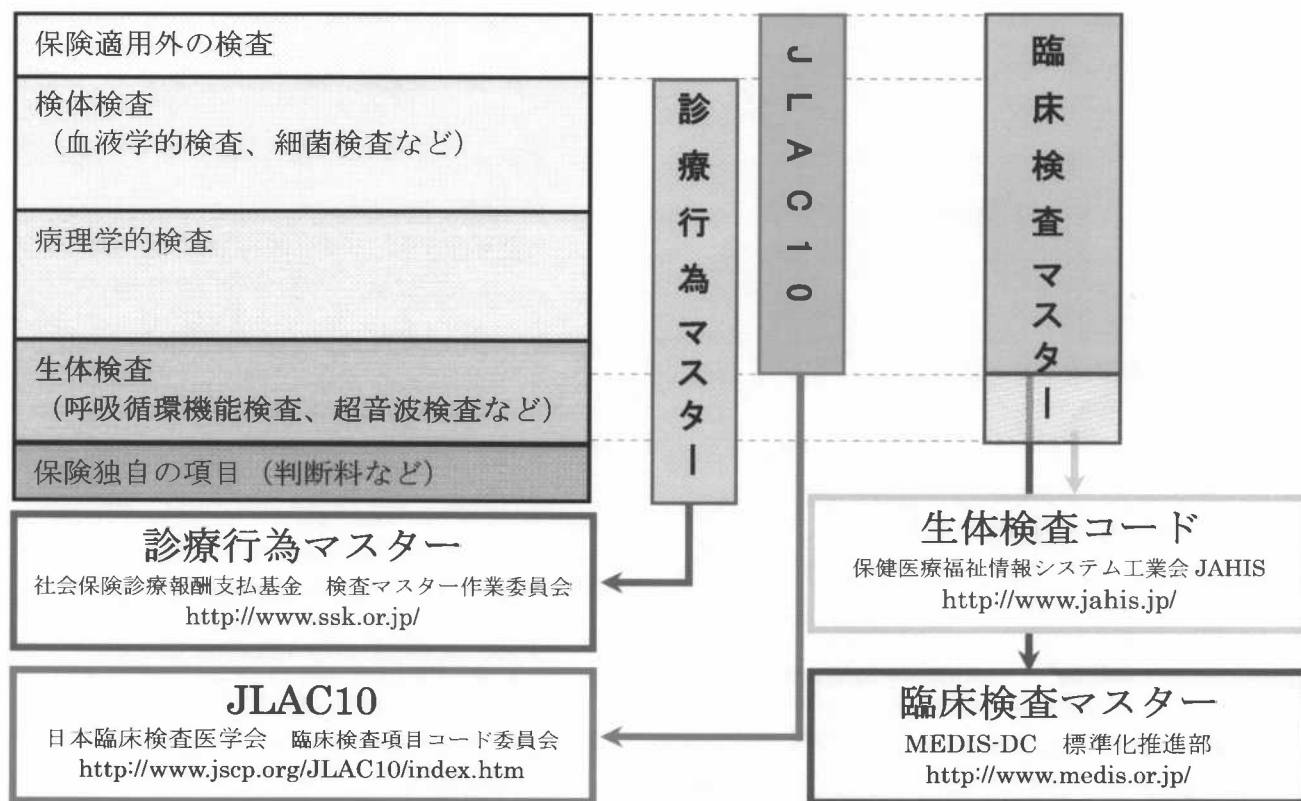


図3. 臨床検査マスターの運用管理体制

臨床検査マスターの運用は、臨床検査検討分科会（事務局：MEDIS-DC）を中心に、日本臨床検査医学会、保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）が連携して運用を行っております。